

1. はじめに

現在の就職志望先を選定する方法は、求人会社一覧のエクセルファイルを参照するか、直接進路指導室に行き、求人一覧のプリントを見ることである。

このようなやり方の問題点は、校外などのファイルがない PC 環境では参照出来ないことや、エクセルがない PC で参照することが出来ない等があげられる。

そこで、どこからでも参照できるシステムにするために、携帯電話での参照を可能とするシステムを開発したいと考えた。携帯電話の普及は十分進んでいるので、このシステムが実用化されれば非常に有用であると考えた。

2. 機能概要

このシステムの機能は大きく3つに分けられる。それは、検索画面、検索結果表示部分、詳細表示部分である。下図がその構造になっている。

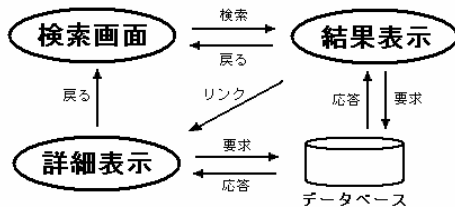


図1. システム構造

検索画面は、求人一覧の項目を参照し、主に使用されると考えられる9種類の項目からの検索を実施する。また、検索項目以外に5種類の項目のソート指定、表示件数指定を検索時に選択できる。検索結果表示時のソートはここで指定する。

結果表示部分は、まず上部に検索件数、表示している件数の表示を行い、その下に求人情報を表示していく。その際の順番は検索時のソート指定に準じる。また、ここでの求人情報の表示については、携帯電話での表示ということも踏まえて、住所や電話番号などを除いた簡易な表示となっている。表示された会社名にハイパーリンクを貼り、それぞれの会社の詳細な求人情報を見ることができるようにした。

詳細表示部分は、検索結果表示時の会社名から呼び出す。こちらは求人一覧の情報をそのまま全て表示しているため、ここでその会社の詳細を知ることができる。

3. 動作結果

この表示では携帯電話での表示に近づけるため、ソフトバンクのウェブコンテンツビューアを使用している。

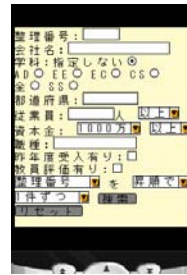


図2. 検索画面

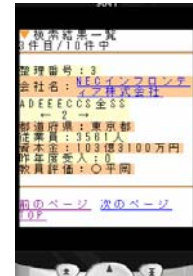


図3. 結果簡易表示画面

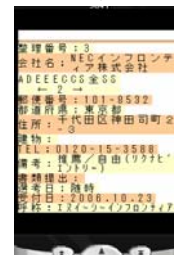


図4. 詳細表示画面

図2の複数の検索項目からの検索画面で、下部にある検索を押すと、入力された検索項目から検索をかける。

図3は1件ずつ表示するように指定した検索結果である。図のように現在表示しているのは何件目か、全体で何件検索されたかがわかるようになっている。また、ここでの情報は1社の情報が1画面内に収まる程度に表示されるようにした。

図4での詳細表示の際、全体を見ようとすると約画面2枚分の表示になっている。項目に情報が記入されていない場合には、項目名のみ表示されて、情報は空欄となる。

4. 評価とまとめ

当校で就職活動を既に行った10名の学生に対してアンケートを行った結果、このシステムを利用したいという意見が10割を占めた。

このことから学生は、多少なりとも現状に不満を抱いており、情報の求めやすさ、検索の手軽さなどを求めていることがわかった。

参考文献

- [1] 田中ナルミ/阿部忠光, “標準 MySQL 改訂版”, pp.258-280
- [2] SAK Streets <http://homepage2.nifty.com/sak/>
- [3] PHP プロ! <http://www.phppro.jp/>